

大震災から1年。思うところは色々ありますが、私たち九州の農家は少しでも安心して食べていただけるものを作り続けることが何よりの使命。春の訪れとともに農作業が増えていきます。

1年の中で最も肉体労働が多い月の一つが3月。アラフォーに突入した私たち二人だけで大丈夫かしら、と一抹の不安を感じていたのですが、来ました来ました！ちょうどタイミングよく、20代の若者が研修にやって来てくれたのです。1人は筑波大の学生ジュン君（写真）。春休みを利用して、前から興味があったと言う農業体験をしに、2週間の予定で来ています。もう1人は昨年就農したばかりのカリヤ君。早稲田大を出て、農村支援のNPOで勤めた後、郷里の新潟で弟さんと一緒に就農したのだそう。農閑期を利用してあちこちを回ってお勉強中。そんな強力な助っ人を得て、まずは水路の整備から。去年1年で水路にたまった泥を救い出すのです。左がビフォー、真ん中がアフター。同じ場所を写した写真です。3人力、というのはスゴイです。



冬の間を作って
おいた堆肥も完成
間近。おいしいお米
をつくるためには、
欠かせないのがこ
の堆肥。牛の糞尿を
含んだ籾殻が発酵
して堆肥ができる
のですが、満遍なく

発酵するように時々混ぜて中に空気を送り込みます。「切返し」と呼ばれる作業で、三男・讚太郎のお気に入り。飽きもせず耕太の膝に乗ってお手伝いをしていました。牛を飼っていない農家の中には、地力を保つためにレンゲやナタネなどを植える人もいます。空気中の窒素を地中に固定してくれる性質を利用しているのです。有機肥料は効くのもゆっくりなら、できるのもゆっくり。化学肥料のようにはいきません。



田んぼの準備と並行して、苗の準備もスタート。まずはタネのひげとりから。ひげとりと言われてもピンと来ませんよね。莖（ワラ）と籾（モミ）をつないでいた細いヒゲのような部分があるのですが、種蒔き機にひっかかってしまうので事前にそこを取っておくのです。そのための機械もあるのにびっくり。ヒゲの部分は「芒（ぼう、ノギ）」と言うのだそうで、小さな洗濯機のような機械は「脱芒機」といいます。15分ほど機械を動かすときれいにヒゲが取れるというわけ。「種籾のヒゲとり」を知っている消費者の方はまずいないと思いますので、自慢してください（笑）。





さてここからは農作業以外の出来事です。まずは去年の秋から続いている家づくりの作業。凍らないよう、少し暖かくなっているのを待っていた漆喰塗りをしました。やってみたくてという

友人たちが数人手伝いに来てくれて、ワイワイとにぎやかでした。人数が多いと楽しいのですが、必ずしもはかどらないのも事実。休憩が長かったり、話し込んでしまったり。そんなわけで、仕上げはやっぱり精鋭部隊。体験に来た友人たちの気が済んだあとに、内装の仕事をしている言わばプロの友人二人と、見習い中の耕太が3人できれいに仕上げてくださいました。



3月は何かとセミナーやシンポジウムが多いもの。お勉強のチャンスがたくさんです。まずは「放射能セミナー」に参加しました。熊本は最も原発事故の影響がないと言われてはいますが、「本当に大丈夫なの？」とこの先心配なお客さんもいらっしゃるでしょうから、放射能について、正しい知識はもちろん、測定器具の使い方や数値の持つ意味を教わってきました。日常的に器具を使わなければならないような状況には決してなあって欲しくありませんが、実際に測定することでわかることもあるはずと思って参加。放

射性物質を壁などで遮蔽するよりも、遠く離れるほうが放射線の低減率が高いことなどを確認することができました。とにかく近づかないほうがよいとのことでした。

次に、米粉（こめこ）普及シンポジウムにも行ってきました。「台所育児 - 1歳から包丁を - 」の著者である坂本廣子さんが講師だったので、ぜひ参加したかったのです。田んぼをできる限りたくさん使ってお米を作り続けることの大切さ、最初は粒で食べ、古米になったら粉にして食べることでお米を最後までいとおしんで食べていきたい、というお話に感動。米粉は小麦粉の代用品ではなく、米粉だからこそのおいしい食べ方を広めていきたいとのことでした。天ぷらの衣や、シフォンケーキには米粉の方が適しています。米粉は常備しておくことで災害時に重湯として貴重な栄養源になるそうです。ぜひ一度使ってみてくださいね！



4月5日発売のソトコトという雑誌に掲載される予定です。「ソーシャルな子育て」という特集で、巻頭12ページ！良かったらご一読下さい。

愛犬ミミが永眠してショックを受けていますが、切替えの早い子供たちの明るい笑顔に助けられました。来週は野焼き、春休みの受入れや集落の花見、卒園式に入学式...。ますます忙しくそしてにぎやかになりそうです！皆様どうぞお元気でお過ごしください。

